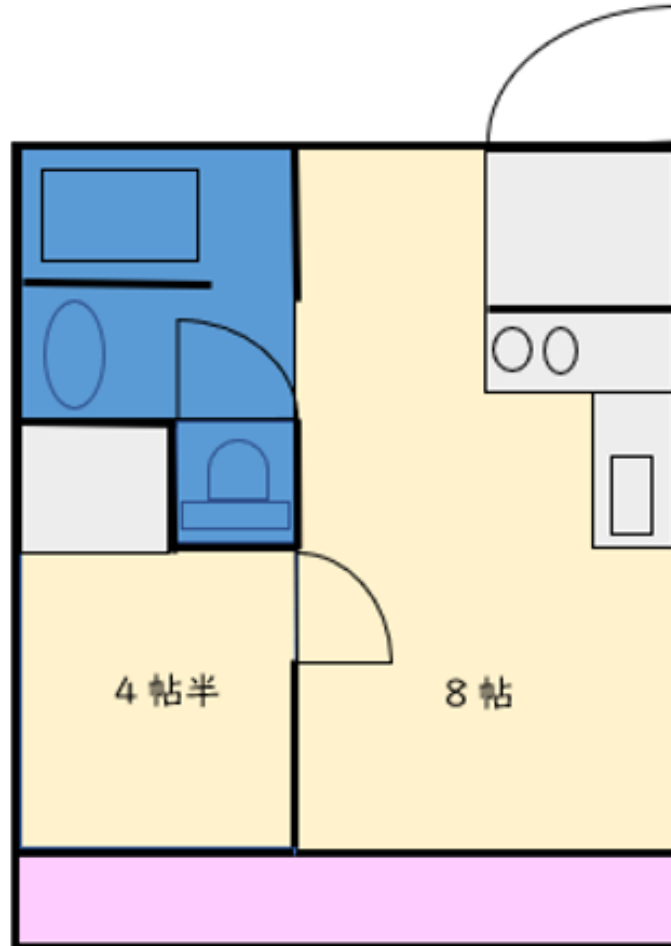


アパートの借り方



お話を書いた人：田中麻美

手伝ってくれた人：田畑サンドーム光恵

フォト AC: <https://www.photo-ac.com/>

フリーアイコンズ: <https://free-icons.net/>

イラスト AC: <https://www.illustr-ac.com/>

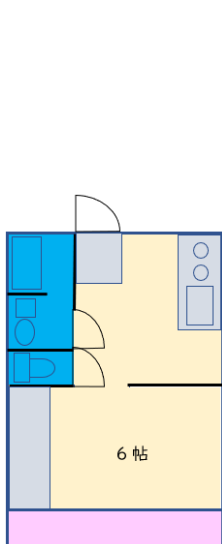
これは、ジェイクさんです。ジェイク
さんは今年、アメリカの大学を卒業しま
した。来週から、日本で仕事が始まりま
す。子供の時から、日本に住みたいと思
っていたので、日本で英語の先生になれ
るとわかった時はとてもうれしかったで
す。



ジェイクさんは二日前に、日本に着いた
ばかりです。仕事は来週から始まります。
だから早くアパートを見つけないきゃいけま

せん。今日は不動産屋に行きました。不動産屋はアパートを紹介してくれるお店です。

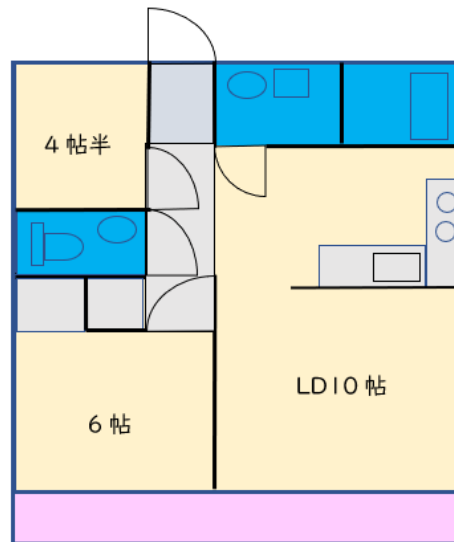
不動産屋にはたくさんの「間取り図」がありました。間取り図は部屋の広さや、窓やドア、トイレの場所がわかるアパートのなかの図です。不動産屋の人はその中から三つ選んでくれました。



間取り図A

家賃7万円

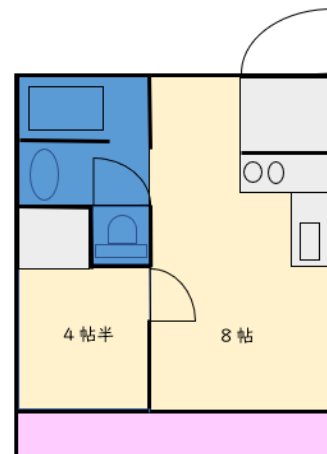
駅から徒歩5分



間取り図B

家賃15万円

駅からバスで20分



間取り図C

家賃9万円

駅から徒歩15分

ジェイクさんは間取り図Aを見て、すぐに、このアパートは台所、トイレ、洗面所、風呂場、寝室（リビングルームとしても使える）、そしてベランダがあることがわかりました。でも、この「6帖」という意味がわかりません。

「これ、6・・・?? この漢字（帖）は何ですか？」と聞きました。

不動産屋の人は言いました。

「『帖』は大きさを表します。1帖は畳1枚分の大きさのことです。だからこのアパートの寝室は畳6枚分の大きさです。」

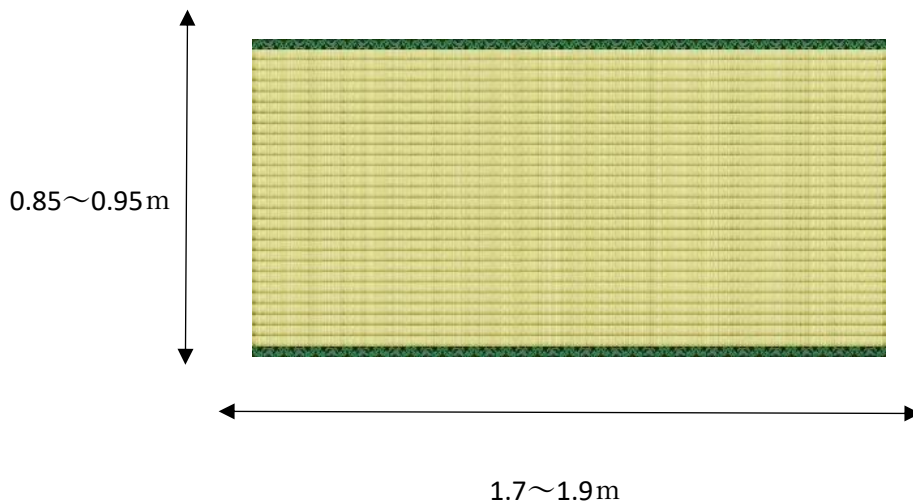


「^{たたみ}そうですか。でも、^{たたみ}畳って、どれぐらい
^{おお}の大きさですか。」



「^{たたみ}畳1枚は、^{まい}縦^{たて}0.85~0.95メートル、^{よこ}横
1.7~1.9メートルです。^{ちほう}地方やアパートに
よって^{おお}大きさは^{すこ}少しずつ^{ちが}違いますが、^{じょう}6帖
は^{にほん}日本では^{おお}ふつうの^{へや}大きさの部屋です
よ。」

「^{たたみ}そうですか。」



ジェイクさんは間取り図Bを指して聞きました。

「じゃあ、この部屋は畳10枚分の大きさということですか？」

「ええ、そうです。」

「このLDというのは何ですか？」

「LDというのは英語のLiving roomのLと、Dining roomのDです。ここは食事をしたり、テレビを見たりする部屋です。」

これがわかるともう、三つ目の間取り図はわかりやすいです。でも、ジェイクさんは

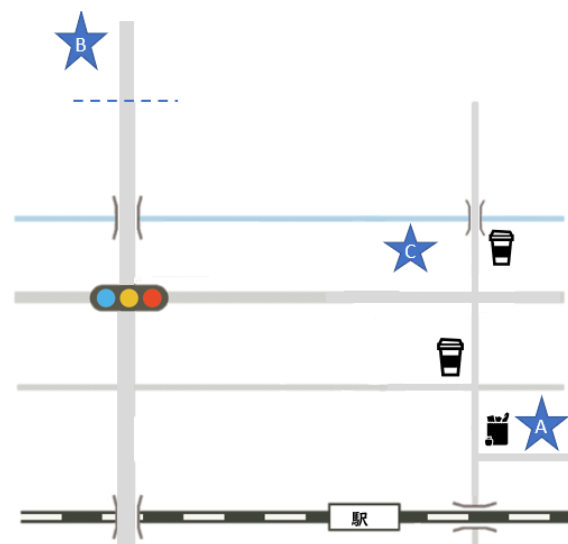
どのアパートがいいかわかりませんでした。
すると不動産屋の人が言いました。

「今から、見に行ってみますか。」

「はい、お願いします。」

間取り図Aのアパートは6帖の部屋が一つしかないので、ジェイクさんにはやっぱり小さすぎました。間取り図Bのアパートは広くてよかったのですが、駅から遠すぎました。それに高すぎます。

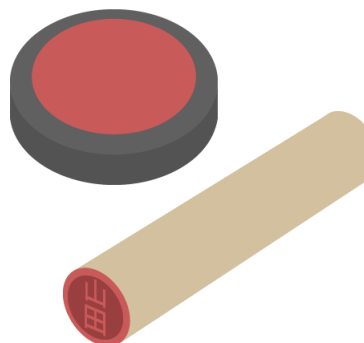
間取り図Cのアパートは前が川でした。明るくて静かでした。駅からは



ある
歩いて15分で、スーパーやおしゃれなカフェがありました。ジェイクさんはCのアパートに決めました。

「じゃあ、このCのアパートにします。」

「では、この契約書を書いてください。英語では、えっと、、、コントラクトペーパーです。それから、ハンコが要ります。アメリカでは大切な書類にサインをするそうですが、日本ではハンコを使います。ジェイクさんはハンコを持っていますか？」



「ええ、ありますよ。ニュースで見て、^み必^{ひつ}
^{よう}要になると思って、ネットで^{ちゅうもん}注文しておき
ました。」

「ジェイクさんは^{じゅんび}準備がいいですねえ。」

「いえいえ、そんなことはないです。でも、
ハンコを^{つく}作っておいてよかったです。」

^{ぶんご}20分後、^{ぶじ}無事、ジェイクさんは^{けいやくしょ}契約書を
^か書^おき終わりました。

「では、^{まんえん}27万円を^{ぎんこう}銀行に^ふ振^こり込んでいただけ
ますか。それが^{かくにん}確認できたら^{けいやく}契約が^{かんりょう}完了
です。」

「えっ、27万円？！あの、家賃は9万円で
すよね？」

「ええ、でも、最初だけ、敷金と
礼金が必要になります。」

敷金？礼金？



「敷金と礼金って何ですか？」

「敷金は大家さんに預けるお金のことで
す。もしジェイクさんが何かを壊したら、
大家さんは敷金を使って修理します。何も
壊さなければ、アパートを出る時敷金を返
してもらえます。」

—ああ、Depositのことか— ジェイクさ
んは思いました。

「^{れいきん}礼金は^{おおや}大家さんに^{しはら}支払う『^{れい}お礼』の^{かね}お金
の^{こと}です。だから、^{れいきん}礼金は^{かえ}返してもらえ
ません。^{しききん}敷金も^{れいきん}礼金も^{やちん}家賃^{かげつぶん}1ヶ月分ずつなん
です。」

「^{そう}ですか。わかりました。」

「^{ふりこ}振込みが^{かくにん}確認できたら、^{れんらく}ご連絡しま
す。」

「^{ありがたう}ありがとうございました。」

ジェイクさんは^{ふどうさんや}不動産屋を^で出て、そのまま
^{ぎんこう}銀行へ^い行きました。そして、^{かね}お金を^ふ振り込
^こみしました。

つぎ ひ ふ どうさん や でん
次の日、不動産屋からジェイクさんに電
わ
話がかかってきました。

「もしもし、ジェイクさん。振り込みの確
にん かぎ と き かく
認ができました。鍵とアパートの準備もで
きました。鍵を取りに来ていただけます
か。」

ジェイクさんは鍵を取りに行きました。

さあ、これから、待望の日本での生活が
はじ せいかつ
始まります。ジェイクさんはワクワクして
います。

